

目 次	
1.	コマンドプロシジャ・カタログドプロシジャの一部変更について ..... 1
2.	FORTRAN 77 における英小文字サポートについて ..... 6
3.	平成 2 年度利用者旅費について ..... 9
4.	文献情報検索講習会の開催について ..... 10
5.	昆虫学データベース講習会の開催について ..... 11

### 1. コマンドプロシジャ・カタログドプロシジャの一部変更について

センターニュース No. 415 でお伝えしましたように、4 月 23 日から CLP がレベルアップしています。これに伴い、以下のソフトウェアのコマンドプロシジャおよびカタログドプロシジャに機能追加・変更が行われています。

#### ・ GKS 85

コマンドプロシジャおよびカタログドプロシジャに以下の機能追加が行われています。なお、いずれも CLP への出力時にのみ有効です。

- 1) WS パラメタに CLPA4L (A 4 サイズランドスケープ), CLPA4P (A 4 サイズポートレート), CLPB4L (B 4 サイズランドスケープ), CLPB4P (B 4 サイズポートレート) の 4 つを追加。
- 2) SIDE パラメタ (印刷面を指定する) の追加。FRONT (片面印刷), BOTH (両面印刷) のいずれかを指定する。省略時は FRONT。
- 3) BIND パラメタ (とじしろ方向を指定する) の追加。LEFT (左側), RIGHT (右側), UPPER (上側), LOWER (下側) のいずれかを指定する。省略時は LEFT。

#### TSS による使用例

CLP に A 4 サイズ、ランドスケープで両面印刷を行う。

READY

GKS85 データセット名 WS(CLPA4L) SIDE(BOTH)

### バッチによる使用例

```
CLPにB4サイズ, ランドスケープで両面印刷を行う.  
// EXEC GKS85, STEP=CLG, SYSOUT=U, WS=CLPB4L, SIDE=BOTH  
//FORT.SYSIN DD DSN=データセット名, DISP=SHR  
//
```

### ・SAS

RSASコマンドプロシジャも同様に、以下の機能追加が行われます。なお、いずれもCLPへの出力時にのみ有効です。

コマンドプロシジャの追加点

1) GOUT, POUT, LOUOUTパラメタそれぞれに CLP を追加。

コマンドプロシジャおよびカタログドプロシジャの追加点

1) PSHEET, LSHEETパラメタ (プロシジャ出力およびログ出力時の用紙モード) の追加。指定可能な値は A4LS (A4サイズランドスケープ), A4PR (A4サイズポートレート), B4LS (B4サイズランドスケープ), B4PR (B4サイズポートレート) の4種類です。省略時は A4LS。

2) SIDEパラメタ (印刷面を指定する) の追加。FRONT (片面印刷), BOTH (両面印刷) のいずれかを指定する。省略時は FRONT。

3) BINDパラメタ (とじしろ方向を指定する) の追加。LEFT (左側), RIGHT (右側), UPPER (上側), LOWER (下側) のいずれかを指定する。省略時は LEFT。

注意)

- CLPへの出力では、GOPTIONS ステートメントの GFORMS パラメタに指定可能な値は PR20 (A4サイズポートレート), PR21 (A4サイズランドスケープ), PR22 (B4サイズポートレート), PR23 (B4サイズランドスケープ) の4種類のみなので、これら以外の値を指定しないよう注意して下さい。

A4サイズ, ランドスケープで出力する場合の GOPTIONS ステートメント。

```
GOPTIONS DEVICE=GSP6683 NODISPLAY GSFMODE=REPLACE GFORMS=PR21
```

- SIDEパラメタ, BINDパラメタはグラフ出力, プロシジャ出力, ログ出力のいずれにも有効です。すなわち SIDE(BOTH) としてグラフ出力, プロシジャ出力, ログ出力を行う場合, どの出力も両面印刷されます。

### TSSによる使用例

CLPにグラフ, ログを両面に出力する。ログ出力はA4サイズランドスケープである。

READY

```
SAS DA(データセット名) GOUT(CLP) LOUOUT(CLP) LSHEET(A4LS) SIDE(BOTH)
```

### バッチによる使用例

CLPにグラフ, ログを両面に出力する。ログ出力はA4サイズランドスケープである。

```
// EXEC SAS, SY=U, LSHEET=A4LS, SIDE=BOTH  
//SAS.SYSIN DD DSN=データセット名, DISP=SHR  
//
```

・ COMPACT

コマンドプロシジャおよびカタログドプロシジャに以下の機能追加が行われます。

1) TYPEパラメタの指定可能な印刷タイプは以下のとおりです。

- NLP用
  - TYPE1 (省略形 T1) : 用紙を270度回転し, 上下2面に印刷する。
  - TYPE2 (省略形 T1) : 用紙を270度回転し, 1面に印刷する。
  - TYPE3 (省略形 T1) : 用紙を回転させず, 左右2面に印刷する。
  - TYPE4 (省略形 T1) : 用紙を回転させず, 1面に印刷する。
  - TYPE5 (省略形 T1) : 用紙を回転させず, 上下左右4面に印刷する。
- CLP (A4サイズ) 用
  - A4T1: ポートレートで1面に印刷する。
  - A4T2: ランドスケープで1面に印刷する。
  - A4T3: A4T1と同じ。
  - A4T4: ランドスケープで左右2面に印刷する。
- CLP (B4サイズ) 用
  - B4T1: ポートレートで上下2面に印刷する。
  - B4T2: ポートレートで1面に印刷する。
  - B4T3: ランドスケープで左右2面に印刷する。
  - B4T4: ランドスケープで1面に印刷する。
  - B4T5: ランドスケープで上下左右4面に印刷する。

2) SIDEパラメタ (印刷面を指定する) の追加。FRONT (片面印刷), BOTH (両面印刷) のいずれかを指定する。省略時は FRONT。CLP への出力時のみ有効。

3) BINDパラメタ (とじしろ方向を指定する) の追加。LEFT (左側), RIGHT (右側), UPPER (上側), LOWER (下側) のいずれかを指定する。省略時は LEFT。CLP への出力時のみ有効。

カタログドプロシジャの変更  
指定方法

カタプロ名	パラメタ
COMPACT	SY = { <u>A</u>   K   O   S   U} TYPE = 印刷タイプ OPTION = ' 実行オプション' SIDE = { <u>FRONT</u>   BOTH} BIND = { <u>LEFT</u>   RIGHT   UPPER   LOWER}

パラメタの説明

- ・ SY = {A | K | O | S | U}  
出力クラスを指定する。省略時はA。

- ・ TYPE=印刷タイプ  
印刷タイプを指定する。省略時は TYPE2.
- ・ OPTION='実行オプション'  
COMPACTの実行オプション (CPI, LPI など) を指定する。なお、実行オプションに UNIT=出力装置 というものがあるが、これを指定してはならない。
- ・ SIDE = {FRONT | BOTH}  
片面印刷 (FRONT) か両面印刷 (BOTH) かを指定する。省略時は FRONT.
- ・ BIND = {LEFT | RIGHT | UPPER | LOWER}  
とじしろ方向を指定する。省略時は LEFT.

### TSSによる使用例

印刷タイプ A4T1 で CLP へ出力する。

```
READY
COMPACT データセット名 T(A4T1)
```

### バッチによる使用例

印刷タイプ B4T1, CPI を 20CPI で CLP に出力する。

```
// EXEC COMPACT,TYPE=B4T1,OPTION='CPI=20'
//UTYIN DD DSN=データセット名,DISP=SHR
//
```

### ・ EGRET / DRAW

バッチによる使用法が変更になりました。これまではジョブ制御文中で出力先を割り当てていましたが、PRTGRF カードで OUT=NLP または OUT=CLP とすることにより指定した装置に出力することが可能になりました。なお、OPR への出力は従来通りです。

NLP に出力する。

```
// EXEC EGRD
//GRAPH DD DSN=データセット名,DISP=SHR
//SYSIN DD *
MODE IN=GRAPH,KST=KST,FEED
PRTGRF IN=GRAPH,OUT=NLP,OUTDEV=PR30
MEMBER メンバ名
/*
//
```

CLP に出力する。この場合に指定可能な PRTGRF カードの OUTDEV パラメタの値は、PR20 (A4 サイズポートレート), PR21 (A4 サイズランドスケープ), PR22 (B4 サイズポートレート), PR23 (B4 サイズランドスケープ) の 4 種類です。

```
// EXEC EGRD
//GRAPH DD DSN=データセット名,DISP=SHR
//SYSIN DD *
```

```

MODE      IN=GRAPH, KST=KST, FEED
PRTGRF   IN=GRAPH, OUT=CLP, OUTDEV=PR21
MEMBER   メンバ名

```

```
/*
```

```
//
```

## ・ ANALYST

ANALYSTのプロシジャ出力 (GRAPHを含まない) では, ANALYSTのSETコマンドを用いてCLP出力の環境設定を行う。

### SETコマンドの入力形式

コマンド	オペランド
SET	PRINTER ( [ CLASS (出力クラス) ] [ CLP   NLP ] [ PRINTMODE ( LAND   PORT   LZOOM   PZOOM   LP ) ] [ SHEETSIZE ( A4   B4 ) ] [ SIDE ( FRONT   BOTH ) ] )

### オペランドの説明

**PRINTER** : プリント属性を定義する。  
**CLASS** : 結果リストの出力クラスを指定する。CLPはUを指定。  
**CLP | NLP** : 出力するプリンタを指定する。  
**PRINTMODE** : CLPに出力する場合に, 印刷モードを指定する。  
**LAND** : ランドスケープモード (用紙が横長)  
**PORT** : ポートレートモード (用紙が縦長)  
**LZOOM** : ランドスケープモードで80%縮小印刷  
**PZOOM** : ポートレートモードで80%縮小印刷  
**LP** : LPモード (ラインプリンタ用紙を対象にした出力データをランドスケープA4サイズ用紙に縮小印刷)  
**SHEETSIZE** : CLPに出力する場合に, 用紙サイズを指定する。  
**SIDE** : CLPに出力する場合に, 片面印刷または両面印刷の指定をする。  
**FRONT** : 片面印刷  
**BOTH** : 両面印刷

### 使用例

CLPにB4サイズランドスケープで80%縮小でかつ両面印刷で出力する。

```
READY
```

```
%ANALYST BANK(''LIB.SAMPLE.ANABANK'')
```

```
ANALIST_ GET LEISUREJ
```

ANALIST\_ SET PR(CLP CLASS(U) PRINTM(LZ) SH(B4) SIDE(BOTH))  
 ANALIST\_ CHGL P ... 出力先をプリンタに切り替える。  
 ANALIST\_ MHIST MUSCKIND  
 MHIST\_ ... エンターキーを押す。  
 ANALYST\_ FREQ MUSCKIND  
 FREQ\_ ... エンターキーを押す。  
 ANALYST\_ CHGL ... 出力先を端末にもどす。  
 CLP から出力を要求する。

(ライブラリ室 内線2508)

## 2. FORTRAN77における英小文字サポートについて

4月23日(月)からFORTRAN77で、コンパイラ・オプションLCHを指定することにより、英小文字で記述されたプログラムをコンパイルできるようになりました。文字定数の中など一部を除いて英大文字で記述した場合と同じ解釈がなされます。

### 英小文字の入力と出力

#### [翻訳時の注意]

文字式による編集記述子及び指定子の値は英大文字でなければならない。  
例を以下に示す。

```

例： write(unit=6,fmt='(1H ,I4,5X,I2)') i4,i2
      open (unit=6,access='SEQUENTIAL',form='FORMATTED')
  
```

表1に原始プログラム中に英小文字を使用した場合の解釈と出力形式を示す。

#### [実行時の注意]

表2に実行時における英小文字の解釈を示す。

### 使用上の注意

#### [オプションの制限]

コンパイラオプションLCHは、JEF(日本語処理機能)あるいはAQL(リレーショナルデータベース機能)と同時に指定できない。指定した場合には、JEFあるいはAQLのオプションが無視され、LCHオプションが有効になる。

#### [機能の制限]

以下の機能は使用不可となる。

- ・シフトユティリティ
- ・シンタクスチェッカ

#### [コンパイラの統計情報]

統計情報にはLCHオプションは出力されない。

表1. 原始プログラム中に英小文字を使用した場合の解釈と出力形式

項 目	入力	出 力			
		SOURCE	SRCMSG	XREF	SYSFIN
翻訳指示行	○	○	-	-	△
*EJECT行, *INCLUDE行	○	○	-	-	△
INCLUDE行/文のメンバ名	○	○	○	-	-
注釈行	○	○	○	-	△
継続行の6けた目	○	○	○	-	○
英字名	○	○	○	○	○
16進定数のZの後	○	○	○	-	○
FORMAT文の編集記述子	○	○	○	-	○
定数の指数部	○	○	○	-	○
論理型定数	○	○	○	-	○
論理演算子及び関係演算子	○	○	○	-	○
文(キーワード)	○	○	○	-	○
文字定数(' 'の中)	●	○	○	-	○
文字定数(nH) nHの後	●	○	○	-	○
FORMAT文のアポストロフィ編集	●	○	○	-	○
FORMAT文のH形編集	●	○	○	-	○
文字式の値による編集記述子	×	-	-	-	-
入出力文の指定子の文字式	×	-	-	-	-

備考1. 出力欄の意味を以下に示す.

SOURCE : 原始プログラムリストを示す.

SRCMSG : 原始プログラム付き診断メッセージ機能で出力される原始プログラムリストを示す.

XREF : 相互参照リストにおける英字名を示す. また, マップリスト, オブジェクトリスト及び診断メッセージの付加情報の英字名についても同様である.

SYSFIN : P I または I T R オプション指定時の最適化原始プログラムを示す.

備考2. 記号の意味を以下に示す.

入力の◎ : 英小文字を入力した場合, 英大文字と同じ英字と解釈されることを示す.

入力の● : 英小文字を入力した場合, 英小文字として解釈されることを示す.

入力の× : 英大文字で入力しなければならないことを示す.

出力の◎ : 入力の英字がそのまま出力されることを示す.

出力の○ : 入力の英小文字が英大文字に変換され出力されることを示す.

出力の△ : 入力の英小文字が英小文字と変換された英大文字と混在して出力される場合があることを示す.

出力の- : 関係が存在しないことを示す.

表2. 実行時における英小文字の解釈

項 目	入力	出力
オプション	×	-
実行時のデータ	△	-
文字書式仕様	×	-
入出力文の指定子の文字式	×	-
実行時の出力結果	-	△
ネームリスト出力文の英字名	-	○
デバッグ情報の英字名	-	○

備考 記号の意味を以下に示す.

× : 英小文字の入力が許されず, 英大文字で入力しなければならないことを示す.

○ : 原始プログラムの英小文字が英大文字に変換され出力されることを示す.

△ : A形編集記述子による入出力の場合だけ英小文字が許されることを示す.

- : 関係が存在しないことを示す.



### 3. 平成2年度利用者旅費について

本年度の出張利用による利用者旅費は、次のとおり取り扱いします。

1. 利用期間 平成2年4月3日～平成3年3月31日
2. 利用者の出張期間及び旅費支給基準

地区	出発地	出張期間	日当	宿泊	備考
1	北海道	4泊5日以内	1,700 <sup>円</sup>	8,700 <sup>円</sup>	センター内利用 期間3日以内 航空機利用
2～6	東北、東京、名古屋、 京都、大阪、四国等	4泊5日以内	1,700	8,700	センター内利用 期間3日以内
7	鹿児島、宮崎、沖縄	3泊4日以内	1,700	8,700	センター内利用 期間3日以内 沖縄航空機利用
7	広島、山口、大分、長崎 熊本	2泊3日以内	1,700	8,700	センター内利用 期間3日以内
7	上記以外の地域 (佐賀、北九州等)	日帰り	1,700	—	“

イ. 旅費の支給基準は、文部省所管旅費規則に定めるところにより、運賃は、普通料金とします。ただし、鉄道賃は片道50Km以上の場合は急行料金、片道100Km以上の場合は特急料金を支給します。日当・宿泊費については、上表のとおり行政職俸給表(一)1級相当額を支給します。又、旅費の支給は、すべて精算払です。

ロ. 利用者は、連絡所に備え付けの出張利用申込書により、連絡所を經由してセンター長宛に提出してください。なお、申込書には、必ず登録番号を記入し、出張利用予定日の2週間前にセンターへ必着するよう送付してください。

ハ. 科学研究費交付金支弁による利用者には、旅費の支給はしません。

ニ. 出張利用は、申請者本人に限りますので、代理者の出張利用は認めません。

ホ. 宿泊所の斡旋はしませんので、各自で手配してください。

#### 3. その他

出張利用申込書の提出をもって、旅費支給の承認をされたことにはなりません。本センターで審査した上該当者には、後日、出張依頼書を連絡所宛に送付します。ご確認の上、必要書類を提出してください。

なお、旅費予算の制約もあることから、出張期間の短縮を含め調整する場合がありますので申し添えます。

(共同利用掛 内線2505)

#### 4. 文献情報検索講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（内線2505）にお申し込みください。

#### 記

- ・日 時 5月31日（木） 10時～16時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 初心者
- ・募集人員 40名
- ・内 容 情報検索システムAIRによるINSPECデータベース（物理学，電気・電子工学，計算機科学，制御工学，情報工学関係の文献データベース）及び，JICSTJデータベース（情報工学関係の和文二次文献データベース），RAMBIOSデータベース（分子生物科学関係のレビュー文献データベース）の検索法
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・講 師 研究開発部 古川 哲也，システム管理掛 橋倉 聡
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割 10:00 12:00 13:30 16:00

検索法の説明	昼 休 み	実 習
--------	-------------	-----

- ・申し込み期間 5月21日（月）～25日（金）  
（なお、募集人員に達し次第締め切ります。）

## 5. 昆虫学データベース講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（内線2505）にお申し込み下さい。

### 記

- ・日 時 6月6日(水) 10時～16時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 初心者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 テキストデータベース管理システムSIGMAの解説  
昆虫学データベース(KONCHU)の利用法と実習
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・講 師 農学部 助教授 多田内 修, 教養部 講師 宮原 哲浩
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割 10:00 12:00 13:30 16:00

SIGMAの解説 KONCHUの解説	昼 休 み	実 習
-----------------------	-------------	--------

- ・申し込み期間 5月24日(木)～30日(水)  
(なお、募集人員に達し次第締め切ります。)